

学年	教科	科目	教科書名	副教材名
高3	芸術	書道	書道 I (光村図書)	なし

1. 授業の目標

- ・書の伝統に基づき書写能力の向上を図り、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。
- ・書の表現方法や形式、その多様性などについて幅広く理解する。
- ・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて表現を構想し、工夫した作品を作り上げる。
- ・主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育む。
- ・作品制作と鑑賞の全体を通じて名筆を生かした表現や現代に生きる表現を学ぶ。

2. 授業のすすめ方

- ・新しい課題の前に、それに付随する事柄や要点を解説し、練習から清書提出まで行う。
- ・実技指導時は、全体への説明の他、机間巡視、個人添削を含めた指導も併せて行う。
- ・電子黒板及びタブレットを積極的に使用した授業を行う。
- ・グループでの話し合い、作品鑑賞等、アクティブラーニング型授業を行う。

3. 学習上の留意点

- ・道具を使える状態で用意し、忘れ物がないようにすること。
- ・揮毫時は相応しい態度を自ら考え臨むこと。
- ・課題（清書）の提出遅延が発生しないように留意すること。

4. 副教材・参考書

- ・副教材なし。
- ・参考資料は電子黒板での投影、もしくはロイロノートスクールで配信し、教科書では取り上げきれなかった箇所について補充する。

5. 評価方法

- ・出欠状況・授業態度、書道に対する熱意の評価（評価全体の40%）
- ・清書作品の評価（評価全体の60%）

6. 定期考査

- ・実施なし。

指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	四月	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス（授業の進め方，評価方法の説明等） ◆持ち物等に関しては classi での事前配信を行う。 ・硬筆の学習（毛筆に入る前の基礎練習） ・落款の練習（小筆を使用した氏名の練習） 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況，授業態度，提出課題の成績を総合的に勘案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に生かせるよう，基礎的な硬筆の技能を習得することができる。 ・古典の鑑賞のポイントを理解し，真贋鑑定ができるような知識を養うことができる。
	五月	<ul style="list-style-type: none"> ・古典作品における鑑賞方法の学習 ◆臨書の手本に関してはロイロノートスクールを使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書作品の提出 ・行書作品の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に基づく用筆や運筆の技能を身に付けることができる。 ・古典の線質，字形や構成を生かした表現ができる。
	六月	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字書（楷書）の学習 教科書に則り 2 作品の臨書を行う。 ・漢字書（行書）の学習 教科書に則り 2 作品の臨書を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・古典に基づく用筆や運筆の技能を身に付けることができる。
七月	<ul style="list-style-type: none"> ・仮名の学習 小筆の持ち方，使い方，いろはうた，連綿の文字等の基礎学習を主体に行う。 教科書に則り 1 作品の臨書を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連綿と単体，線質や字形を生かした表現ができる。 		
二学期	九月	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字書（篆書）の学習 教科書に則り 1 作品の臨書を行う。 ・漢字かな交じり書の学習（創作） 現代書道について学習したのち，自分で選んだ歌詞や詩などを題材とし作品制作をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況，授業態度，提出課題の成績を総合的に勘案する。 ・漢字かな交じり書の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に基づく用筆や運筆の技能を身に付けることができる。 ・古典の線質，字形や構成を生かした表現ができる。
	十月	<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻，刻字について(含鑑賞) 印刀の使用方法などを学習し，実際の篆刻作品を見ながら理解を深める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・臨書で得た知識や技能を生かしながら漢字と仮名の調和，文字の大きさ，全体の構成を意識しながら，意図に基づく効果的な表現ができる。
	十一月			<ul style="list-style-type: none"> ・篆刻，刻字について理解することができる。